

日本情報考古学会第36回大会のご案内

日本情報考古学会第36回大会を下記の要領で開催いたします。前回の大会に引き続き、最新の研究成果の発表、活発な議論が行われることを期待しています。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、関心をお持ちの研究者・学生・一般の方々も歓迎いたします。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第36回大会実行委員会

期日： 2016年3月26日(土)・27日(日)
 会場： 九州国立博物館（福岡県太宰府市石坂4-7-2）研修室
 最寄駅：西鉄「太宰府」駅
 様々なアクセス方法があります。詳しくは各自九州国立博物館 HP より各自ご確認ください。
http://www.kyuhaku.jp/visit/visit_map.html 本学会 HP でもお知らせします。
 共催：九州国立博物館
 後援：福岡県教育委員会／太宰府市教育委員会／西日本新聞社／RKB毎日放送／九州朝日放送

第1日 3月26日(土) 研修室 13:00 開始、16:50 終了

13:00-13:10 開会式 大会実行委員長 及川昭文

研究発表 1 13:10-13:30 三次元コンピュータグラフィックスの適用による北部九州弥生時代甕棺墓の検討
 新屋敷久美子((公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)

研究発表 2 13:30-13:50 曲面近似に基づく点群の自動欠損補間手法の検討
 ○村木祐太(大阪工業大学)、西尾孝治(同)、金谷孝之(広島国際大学)、小堀研一(大阪工業大学)

研究発表 3 13:50-14:10 青銅器のための点群データの自動位置合わせに関する一手法
 ○村木祐太(大阪工業大学)、平井智也(同)、武田匡平(同)、小堀研一(同)

研究発表 4 14:10-14:30 土器遺物の産地問題に関する研究の方法
 三辻利一(鹿児島国際大学)

—休憩— 14:30-14:40

研究発表 5 14:40-15:00 陶質土器の伝播に関する研究
 三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 6 15:00-15:20 遺物分類技能の獲得過程：記憶課題(描画課題)との比較から
 時津裕子(徳山大学)

研究発表 7 15:20-15:40 縄文時代の埋葬における空間的認識—被葬者の顔・膝の向きを中心に—
 中川朋美(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

—休憩— 15:40-15:50

特別講演

15:50-16:50

情報と邪馬台国 高島忠平 先生 (学校法人旭学園 理事長)

懇親会 1日目終了後、レストラン「グリーンハウス」九州国立博物館別館にて

第2日 3月27日(日) 研修室 10:00 開始、15:25 終了

研究発表 8 10:00-10:20 前方後円墳の基壇と墳丘—五社神古墳の築造規格から—
 西村 淳(函館大学)

研究発表 9 10:20-10:40 九州の埴輪の蛍光 X 線分析
 三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 10 10:40-11:00 縄文土器の伝播に関する研究の可能性
 三辻利一(鹿児島国際大学)

研究発表 11 11:00-11:20 日本出土の中世中国系瓦の蛍光 X 線分析による産地推定Ⅱ
 ○中園 聡(鹿児島国際大学)、平川ひろみ(同大学院)、太郎良真妃(同)、下小牧 潤(同)、楊 帆(同)

11:20-12:00 ポスターセッション解説

—休憩— 12:00-13:00

13:00-13:40 オプショナル見学(希望者)
 九州国立博物館の X 線 CT スキャナや三次元計測関連機器などの見学[同館職員による解説付]

研究発表 12 13:40-14:00 現代石工の身体技法(2)—香川県小豆島における花崗岩を割る技術—
 川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 13 14:00-14:20 弥生土器製作者の身体技法—回転台と“人間口クロ”の民族考古学的調査—
 ○平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)

研究発表 14 14:20-14:40 北部九州弥生時代中期における東・西土器様式の検討
 太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 15 14:40-15:00 文字画像分類手法の評価指標の提案
 山口文彦(長崎県立大学教育開発センター)

研究発表 16 15:00-15:20 数理解析と考古学—楕円フーリエ解析による形状分析—
 銘苅耕作(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

15:20-15:25 閉会式

ポスターセッション (第2日 11:20-12:00 ※掲示は両日)

研究発表 17 土器カテゴリーは学習保持されるか
 時津裕子(徳山大学)

研究発表 18 日本古建築モデリング用スクリプトライブラリの開発
 ○生澤克浩(帝京大学理工学部ヒューマン情報システム学科)、近藤直樹(同)

研究発表 19 日本および中国発見の南宋瓦の三次元計測
 ○太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)、平川ひろみ(同大学院)、下小牧 潤(同)

研究発表 20 大坂城大手見付石のデジタルカメラ三次元計測とバーチャル接合
 ○森多花梨(大阪大学)、三瓶裕司(公益財団法人かながわ考古学財団)、佐藤宏介(大阪大学)

研究発表 21 三次元コンピュータグラフィックスの適用による北部九州弥生時代甕棺墓の復元例
 新屋敷久美子((公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)

研究発表 22 SfM による土器調整痕の三次元形状比較—土器製作者個人の高精度同定法の洗練のために—
 ○太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)、平川ひろみ(同大学院)

研究発表 23 小豆島におけるパブリックアーケオロジーの実践
 川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

研究発表 24 土器製作におけるミガキ具—北タイにおけるミガキ石の民族考古学的調査—
 ○平川ひろみ(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(同大学)、川宿田好見(同志社大学文化遺産情報科学研究センター)

大会参加費 (『日本情報考古学会講演論文集』Vol.16 込み) 会員 2000円、非会員 3500円、※地域貢献の一環として、福岡県・佐賀県に居住もしくは通勤・通学されている一般の方は無料とします。(ただし資料集が必要な方は実費。会場の収容数を超えた場合はお断りすることがあります)

懇親会は、第1日(土)終了後、九州国立博物館のレストラン「グリーンハウス」にて。懇親会費 4000円を予定。

当日参加も可能ですが、人数把握のため会員・非会員にかかわらずメールにて、「大会参加」「懇親会出席」について、事前に学会事務局までお知らせくださいますよう、ご協力ください。archaeoinfoiuk@gmail.com

宿泊は、各自でご予約下さい。

第2日(日)の昼食につきましては、各自でご用意ください。なお、第1日(土)の受付時にも、翌日(第2日)の弁当の注文を承る予定です。

詳細・変更等は学会ホームページで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/

大会に関するお問い合わせは、学会事務局まで(九州国立博物館ではお答えできません)。お問い合わせ、ご連絡は必ずメールでお願いします(調査等で不在のことがあるため)。archaeoinfoiuk@gmail.com

☆九州国立博物館では特別展「始皇帝と大兵馬俑」を開催中です。